

# 文学部

## 2.DPを含むアセスメント結果の活用

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用
入学時・パネル・卒業時調査	4月(入学時調査)、11月(パネル調査)、3月(卒業時調査)	新入生・3年生・4年生	教学IRプロジェクトによるフィードバックを学部FDとして行い、DPの達成状況も踏まえた分析結果をもとに、必要に応じて執行部および人事学務検討委員会でのカリキュラム改善や学習環境の充実策を検討する。
単位修得状況	1年次秋学期開始時、2・3・4年次春学期開始時	全学年	単位修得状況が芳しくない学生の状況を専修ごとに把握し、学習指導(個別面談)を行い、学習支援や履修指導等の充実に活用する。
卒論ルーブリック	2月	4年生	各学生が卒業論文作成の過程でDPで求めているどのような能力を培ったかを学生自身が卒論ルーブリックで自己診断し、口頭試問の場で教員側からのフィードバックを行うとともに、全体の状況を分析して翌年度以降の教育効果の改善に努めている。